

製本のススメ

Vol. 2

この間まで雪が降っていたのに、もう桜の便りが届き始めました。街中が若葉や花達に彩られて、心浮き立つ季節ですね。これで花粉症が出なければ、最高なんです。

今回はアジロ綴と無線綴の簡単なお話

アジロとじ

あじろ綴じとは、刷本の背中部分を切らないのが基本です。

切らない代わりに、刷本を折る際に特大ミシンで、切れ目を入れながら折ります。そこから糊を染込ませて表紙がつくわけです。

利点（^_^）

紙が折られた状態で綴じられるので本文の1枚抜けというような事故が起こりません。本の開き具合も良く見開きなどが見やすい

欠点（T_T）

背中の角が出にくく 背の形状が無線綴ほど良くありません。

無線とじ

無線綴とは刷本の背中部分を切ってしまうのが基本 背中を切ってしまうから当然 糊が紙の1枚ずつに付いて表紙とつくわけです。

利点（^_^）

背中を切って、ペラの状態になるために背中の角がでて、見栄えが良い。

欠点（T_T）

ペラになるために、1枚抜けと言うような事故が起こりやすく、特にアート・コート系・厚みのある用紙には不向きです。またノド部分の開きが悪く、見開きページ等には不向きであり、背を切る分だけ仕上がり寸法に若干影響もあります。

どちらの綴じ方も 接着剤の進歩によって生まれた加工方法で、それぞれに利点や欠点があります。小部数ならばペラで無線綴製本したほうが 早く安価な場合もありますが、紙質によっては不適な物もありますので、あらかじめ製本会社へ問い合わせたほうがいいでしょう。特に見返し付や、ハガキ・ミシンなどの付物がある場合には、注意打ち合わせが必要です。



Teabreak

招き猫の置物って、右手と左手の2匹いるのをご存知ですか？

右手では人を招き 左手はお金を招くのだそうです。だからって欲張って両手をあげると「お手上げ」になっちゃうよ〜ん。 ㍻

by (株) 井関製本